

「第18回専攻科研究論文公開発表会」にあたって

平成8年4月、5年制の本科卒業後の教育課程として2年制の専攻科が北九州高専に設置されてから18年余が経過しました。その間、本科から専攻科への進学を希望する学生諸君は年々増え続け、収容定員40名に対して在籍者数96名、本年度の修了予定者は48名を数え、今や、定員増を考えるべき時期に来ております。

専攻科の設置は、学生諸君に大学院に接続したパスを拓くと共に、「中堅技術者の育成」という高専設立当初の教育目標を、高度で幅広く実践的かつ創造性溢れる教育へと発展させました。中央教育審議会は、この実績を評価し、平成23年1月答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」の中で、高専が科学技術の進歩を背景に、5年一貫教育を基本とした2年の専攻科を制度化し、応用力に富んだ実践的・創造的技術者を育成していることを高く評価しています。さらに、高等教育のユニバーサル化、技術の高度化、15歳人口の減少、理科への関心の薄れ、進学率の上昇、地域社会問題などに対応して、地域の産業界等と連携した先導的な職業教育の促進や、地域及び我が国全体のニーズを踏まえた新分野の展開等が必要であるとし、教育組織・内容等の充実と共に専攻科の位置づけを明確にすることを求めています。

「高専」にとっては、中央教育審議会の答申に応え、地域・産業・社会のニーズに対応した教育研究の充実によって、専攻科の位置づけを明確にし、「高専」のプレゼンスを確保することが喫緊の課題です。産業構造の変化や技術の高度化など時代の進展に対応した教育を実施するためには、今や、地域産業界との連携が必須です。地域産業界の皆様方からの「高専」での研究に対するご助言やご意見は、研究の有用性を高め、その成果や考え方を教育に反映できるものと信じております。さらに、企業のシーズやニーズを「高専」に持ち込んで頂き、地域産業界の技術者と学生、教員が一体となって研究開発できれば、学生にとって良い実践教育となることでしょう。これにより、「幅広い場で活躍する多様な実践的・創造的技術者の養成」が達成できるものと確信しております。

本公開発表会では、専攻科修了予定者が本科での卒業研究ならびに専攻科での特別研究を通して培って来た日頃の研究活動の成果を紹介いたします。是非、本発表会に地域産業界の皆様のご参加を賜り、「高専」における教育研究についてご理解頂くと共に、「高専」と地域産業界との連携がより密接になればと願っております。

平成27年1月吉日

北九州工業高等専門学校

校長 塚本 寛